

『 水が出た 』 3歳児 4月



A 児

エピソード

A 児が傘袋に水を入れていると、B 児と保育者が袋から飛び出る水を見て歓声を上げていていることに気づきました。

A 児は B 児と保育者に近づき、“何しているのだろう”という表情で見えています。B 児が袋を掴み水が飛び出ると「おおー」と声をあげ笑顔になりました。

その後 A 児は、他児が B 児のそばにやってきて同じように水の入った袋を何度も掴む様子をじっと見えています。掴んでも水が出ないと保育者の顔をチラッと見て“でなかったね”というかのような表情を見せる A 児。

B 児が力をこめて掴んだ瞬間水が飛び出し、A 児は「わあ」と後ずさりして驚きました。

保育者の思い

・友達や保育者の歓声や水が出るドキドキ感を近くで感じ、まるで自分がしているかのように驚いて飛び上がったたり、笑顔を見せたりしていました。また、そばにいた他児も A 児と同じように驚いたり歓声をあげたりしており、友達や保育者と同じ場で一つの出来事からなる面白さを共有していたと感じました。

・A 児の表情や言動から、友達がしていることに興味を持っていると感じたので実際に水が飛び出すことを体感出来たらもっとおもしろいだろうなと思いました。やってみようという気持ちに繋げていくために誘いかけてみましたが、しようとはしなかった A 児。B 児と保育者のしていることを見て満足したのでしょうか。

・普段掴むことのできない水ですが、袋に入っているからこそ触ることができ、ムニムニとした水の心地よさを感じられます。また思い切り掴むと穴が開いて水が飛び出したり、触っている間に偶然穴が開いて水が出たりと子ども達が自分で扱うことができ、変化が目に見えて分かるビニール袋という素材の面白さを感じてほしいと思います。

子どもの育ちや学び

友達への興味・関心

友達や保育者のしていることを見てやってみようとする姿から、友達の遊びや友達の存在に興味を持つ姿が見られます。

水が出るかわからないドキドキ感や、出てきた嬉しさや驚きを友達や保育者と共有することで、友達や保育者への親しみの気持ちをもつきっかけになると考えます。

家庭だったら・・・

・お風呂に、ポリ袋やジッパー付きの袋、レジ袋等を持っていくと袋にはいった不思議な水の感触を味わったり水が勢よく吹き出す様子を楽しんだりすることができます。

・日常生活の中での子ども達の「なにこれ」「おもしろい」「楽しい」に保護者の方も少しオーバーに共感されることで子ども達も嬉しい気持ちになり、どんどん楽しいことを見つけるかもしれません。